



平成25年6月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成25年2月8日

上場会社名 株式会社 鈴木 上場取引所 東
 コード番号 6785 URL http://www.suzukinet.co.jp
 代表者 （役職名）代表取締役社長 （氏名）鈴木 教義
 問合せ先責任者 （役職名）取締役経理部長 （氏名）倉田 一 TEL 026-251-2600
 四半期報告書提出予定日 平成25年2月13日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
 四半期決算説明会開催の有無： 有 （機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 平成25年6月期第2四半期の連結業績（平成24年7月1日～平成24年12月31日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年6月期第2四半期	9,196	5.4	553	12.0	508	11.9	200	43.8
24年6月期第2四半期	8,723	1.4	493	△24.4	454	△27.0	139	△50.7

（注）包括利益 25年6月期第2四半期 423百万円（539.0%） 24年6月期第2四半期 66百万円（△80.0%）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年6月期第2四半期	32.37	—
24年6月期第2四半期	22.51	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年6月期第2四半期	16,597	11,138	64.7
24年6月期	16,708	11,016	63.4

（参考）自己資本 25年6月期第2四半期 10,735百万円 24年6月期 10,584百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年6月期	—	0.00	—	25.00	25.00
25年6月期	—	0.00			
25年6月期（予想）			—	22.00	22.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成25年6月期の連結業績予想（平成24年7月1日～平成25年6月30日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	20,001	12.1	1,131	19.7	1,156	18.2	504	45.1	81.42

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 有

② ①以外の会計方針の変更： 無

③ 会計上の見積りの変更： 有

④ 修正再表示： 無

(注) 「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

25年6月期2Q	6,195,000株	24年6月期	6,195,000株
25年6月期2Q	2,184株	24年6月期	2,184株
25年6月期2Q	6,192,816株	24年6月期2Q	6,192,877株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数（四半期累計）

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続きは終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
(6) セグメント情報等	9
(7) 重要な後発事象	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災からの復興需要により内需に回復傾向が見られたものの、長引く欧州債務問題の深刻化、中国経済の減速、日中間の情勢不安等、依然として先行きは不透明な状況で推移しました。

当社グループにおいては、スマートフォン、タブレット型端末向けなどのコネクタ用部品が、市場の拡大に伴い増加傾向となりましたが、それ以外の電子部品の需要は依然として弱い状況で推移しました。カーエレクトロニクス関連は、日中間の情勢不安等の影響が懸念されましたが、影響は軽微であり堅調に推移しました。また、機械器具セグメントの中の医療組立事業は、新アイテムの増加により順調に推移しました。

このような環境のなか、当社グループは、部品事業の生産効率向上に向けた取り組みを継続するとともに、経営の安定化に向け、新規事業分野への進出を含めた各施策を推進してまいりました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は91億9千6百万円（前年同期比5.4%増）、営業利益5億5千3百万円（前年同期比12.0%増）、経常利益5億8百万円（前年同期比11.9%増）、四半期純利益2億円（前年同期比43.8%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

なお、第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの区分を変更しております。詳細は、9頁「(6)－Ⅱ－2. 報告セグメントの変更等に関する事項」をご参照ください。以下の前年同四半期比較については、前年同四半期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。

①金型

自動車向け金型は、海外向け需要の継続により堅調に推移しました。一方、電子機器向け金型は、部品の海外生産比率の拡大が進むなかで金型の海外調達も進み、国内の金型市場は厳しい状況となり低迷しました。

その結果、売上高は5億6千7百万円（前年同期比17.9%減）、セグメント利益は6千3百万円（前年同期比44.1%減）となりました。

②部品

電子機器関連は、スマートフォン、タブレット型端末向け部品は市場の拡大に伴い増加傾向となりましたが、テレビ、パソコン向けなど需要が減少している分野は厳しい環境で推移しました。カーエレクトロニクス関連は、日中間の情勢不安等の影響が懸念されましたが、影響は軽微であり堅調に推移しました。

その結果、売上高は77億1千1百万円（前年同期比5.8%増）、セグメント利益は8億8百万円（前年同期比26.5%増）となりました。

③機械器具

専用機のうち自動車関連装置は需要拡大環境のなかで順調に推移しましたが、SMT関連装置及び半導体関連装置は、市場の低迷や円高の影響により設備投資が抑制され厳しい環境となりました。医療組立事業は主力製品の市場が堅調なことから、新アイテムの増加により順調に推移しました。

その結果、売上高は9億1千4百万円（前年同期比23.4%増）、セグメント利益は1億1千4百万円（前年同期比10.7%増）となりました。

④その他

賃貸事業を行っております。売上高は2百万円（前年同期比0.0%）、セグメント利益は1千3百万円（前年同期比48.0%増）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①連結財政状態

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は71億6千7百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億7千4百万円減少いたしました。これは主に受取手形及び売掛金が2億5千8百万円減少し、原材料及び貯蔵品が5千2百万円増加したことによるものであります。固定資産は94億2千9百万円となり、前連結会計年度末に比べ6千4百万円減少いたしました。これは主に有形固定資産が1億1千8百万円減少し、無形固定資産が1千3百万円、投資有価証券が1億8千2百万円増加したことによるものであります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は40億8千3百万円となり、前連結会計年度末に比べ9千9百万円減少いたしました。これは主にその他流動負債が2億4千5百万円減少し、短期借入金が1億4千8百万円増加したことによるものであります。固定負債は13億7千5百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億3千3百万円減少い

たしました。これは主に長期借入金が1億7千1百万円減少したことによるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は111億3千8百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億2千1百万円増加いたしました。これは主に利益剰余金が4千5百万円、その他有価証券評価差額金が1億1千万円増加し、少数株主持分が2千8百万円減少したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は64.7%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ1百万円減少し、14億5千5百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、10億2千7百万円（前年同期比23.7%増）となりました。これは主に、法人税等の支払額2億1千6百万円による資金の減少と、税金等調整前四半期純利益5億2千4百万円、減価償却費5億7千9百万円、売上債権の減少による資金の増加2億4千6百万円による資金の増加であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は7億4千3百万円（前年同期比10.7%減）となりました。これは主に、部品事業の生産設備更新のための支出によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は3億1千1百万円（前年同期は2億5千9百万円の獲得）となりました。これは主に、長期借入金の返済1億7千1百万円、配当金の支払額1億5千4百万円、少数株主への配当金の支払額1億4千7百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、概ね計画どおり推移しております。従いまして、現時点におきましては、平成24年8月10日に公表しました業績予想値に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年7月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これにより、従来の方法に比べて、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ6,843千円増加しております。なお、報告セグメントごとの影響額につきましては、セグメント情報等に記載のとおりであります。

3. 四半期連結財務諸表
(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,744,895	1,742,937
受取手形及び売掛金	4,005,180	3,746,847
商品及び製品	102,247	91,682
仕掛品	481,042	484,153
原材料及び貯蔵品	750,748	802,796
その他	258,520	299,270
流動資産合計	7,342,635	7,167,687
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,437,663	3,643,148
機械装置及び運搬具（純額）	3,090,785	3,050,514
土地	1,233,666	1,233,666
その他（純額）	497,036	212,922
有形固定資産合計	8,259,152	8,140,251
無形固定資産	68,360	81,998
投資その他の資産		
投資有価証券	806,269	988,547
その他	232,552	219,642
貸倒引当金	△915	△915
投資その他の資産合計	1,037,906	1,207,273
固定資産合計	9,365,419	9,429,524
資産合計	16,708,054	16,597,211

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年 6 月30日)	当第 2 四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1, 867, 946	1, 853, 394
短期借入金	816, 426	965, 415
1年内返済予定の長期借入金	434, 853	435, 300
未払法人税等	185, 853	198, 088
賞与引当金	83, 186	89, 605
役員賞与引当金	38, 600	31, 020
その他	755, 699	510, 624
流動負債合計	4, 182, 565	4, 083, 449
固定負債		
長期借入金	457, 436	286, 100
退職給付引当金	674, 812	694, 333
役員退職慰労引当金	376, 600	394, 960
固定負債合計	1, 508, 848	1, 375, 393
負債合計	5, 691, 413	5, 458, 843
純資産の部		
株主資本		
資本金	1, 435, 300	1, 435, 300
資本剰余金	1, 439, 733	1, 439, 733
利益剰余金	7, 531, 252	7, 576, 897
自己株式	△1, 130	△1, 130
株主資本合計	10, 405, 155	10, 450, 800
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	218, 153	328, 380
為替換算調整勘定	△38, 659	△43, 832
その他の包括利益累計額合計	179, 493	284, 548
少数株主持分	431, 992	403, 018
純資産合計	11, 016, 641	11, 138, 367
負債純資産合計	16, 708, 054	16, 597, 211

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年7月1日 至 平成23年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年7月1日 至 平成24年12月31日)
売上高	8,723,362	9,196,140
売上原価	7,572,802	7,961,948
売上総利益	1,150,560	1,234,192
販売費及び一般管理費	656,660	680,802
営業利益	493,899	553,390
営業外収益		
受取利息	236	223
受取配当金	6,441	6,570
受取賃貸料	2,758	2,748
スクラップ売却益	2,489	2,630
その他	5,394	4,743
営業外収益合計	17,320	16,916
営業外費用		
支払利息	8,155	9,591
為替差損	48,639	51,706
その他	2	691
営業外費用合計	56,797	61,989
経常利益	454,422	508,318
特別利益		
固定資産売却益	4,202	21,460
その他	137	—
特別利益合計	4,340	21,460
特別損失		
固定資産売却損	—	2,736
固定資産除却損	447	2,408
投資有価証券評価損	1,693	—
会員権評価損	800	—
貸倒引当金繰入額	440	—
その他	0	—
特別損失合計	3,380	5,144
税金等調整前四半期純利益	455,382	524,633
法人税、住民税及び事業税	218,675	223,397
法人税等調整額	31,672	△21,490
法人税等合計	250,347	201,906
少数株主損益調整前四半期純利益	205,035	322,726
少数株主利益	65,655	122,261
四半期純利益	139,379	200,465

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年7月1日 至 平成23年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年7月1日 至 平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	205,035	322,726
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△136,686	110,227
為替換算調整勘定	△2,068	△9,406
その他の包括利益合計	△138,754	100,820
四半期包括利益	66,280	423,546
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,348	305,520
少数株主に係る四半期包括利益	64,931	118,026

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年7月1日 至 平成23年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年7月1日 至 平成24年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	455,382	524,633
減価償却費	614,826	579,254
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	430	—
賞与引当金の増減額 (△は減少)	718	6,586
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	25,548	19,521
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	17,970	18,360
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△7,080	△7,580
受取利息及び受取配当金	△6,678	△6,794
支払利息	8,155	9,591
有形固定資産売却損益 (△は益)	△4,202	△18,723
有形固定資産除却損	447	79
会員権評価損	800	—
投資有価証券評価損益 (△は益)	1,693	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△109,570	246,604
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△101,321	△56,644
仕入債務の増減額 (△は減少)	268,828	△4,797
その他	△39,123	△94,539
小計	1,126,824	1,215,550
利息及び配当金の受取額	25,464	11,966
利息の支払額	△7,723	△9,784
法人税等の支払額	△314,058	△216,130
法人税等の還付額	—	25,858
営業活動によるキャッシュ・フロー	830,506	1,027,461
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△837,279	△693,961
有形固定資産の売却による収入	21,018	28,388
投資有価証券の取得による支出	△12,083	△11,726
その他	△4,134	△66,040
投資活動によるキャッシュ・フロー	△832,478	△743,339
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△470,000	160,728
長期借入れによる収入	1,006,962	—
長期借入金の返済による支出	△85,858	△171,336
配当金の支払額	△136,246	△154,010
少数株主への配当金の支払額	△54,880	△147,000
財務活動によるキャッシュ・フロー	259,977	△311,617
現金及び現金同等物に係る換算差額	24,143	25,502
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	282,148	△1,993
現金及び現金同等物の期首残高	579,303	1,457,338
現金及び現金同等物の四半期末残高	861,452	1,455,345

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) セグメント情報等

I 前第2四半期連結累計期間（自 平成23年7月1日 至 平成23年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	金型	部品	機械器具	計				
売上高								
外部顧客への売上高	691,117	7,288,262	741,462	8,720,842	2,520	8,723,362	—	8,723,362
セグメント間の内部 売上高又は振替高	234,269	△203,558	140,996	171,708	32,027	203,736	△203,736	—
計	925,387	7,084,704	882,459	8,892,551	34,547	8,927,099	△203,736	8,723,362
セグメント利益	113,765	638,907	103,688	856,361	9,407	865,768	△371,869	493,899

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、賃貸事業を行っております。
2. セグメント利益の調整額△371,869千円には、セグメント間取引消去△7,736千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△414,899千円、棚卸資産の調整額42,930千円及びその他の影響額7,836千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間（自 平成24年7月1日 至 平成24年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	金型	部品	機械器具	計				
売上高								
外部顧客への売上高	567,544	7,711,138	914,938	9,193,620	2,520	9,196,140	—	9,196,140
セグメント間の内部 売上高又は振替高	161,787	△151,341	136,326	146,772	34,400	181,172	△181,172	—
計	729,331	7,559,796	1,051,264	9,340,393	36,920	9,377,313	△181,172	9,196,140
セグメント利益	63,642	808,222	114,764	986,629	13,920	1,000,549	△447,158	553,390

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、賃貸事業を行っております。
2. セグメント利益の調整額△447,158千円には、セグメント間取引消去△10,524千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△425,618千円、棚卸資産の調整額△10,377千円及びその他の影響額△639千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

(報告セグメントの区分方法の変更)

「自動機器事業」と「その他」に含めていた「医療組立事業」は、両事業の関連性が強くなってきたため、組織の新設に合わせて一体管理していくこととしたので、第1四半期連結会計期間より事業セグメントの統合を行い、名称を「機械器具」といたしました。

これに伴い、第1四半期連結会計期間より当社グループの報告セグメントを「金型」「部品」「機械器具」の3つに変更しております。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報は、当第2四半期連結累計期間の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

(減価償却方法の変更)

会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示に記載のとおり、当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年7月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これにより、従来の方法に比べて、当第2四半期連結累計期間のセグメント利益が、それぞれ「金型」で16千円、「部品」で5,279千円、「機械器具」で1,099千円、「その他」で66千円増加しており、また、各報告セグメントに配分していない全社費用が380千円減少しております。

(7) 重要な後発事象

該当事項はありません。